

一橋大学「データ・デザイン研究センター」の 設立について

一橋大学では、「デザイン経営」や「データ・サイエンスを含む情報学」に関する教育プログラムの開発や研究活動を行うため、分野横断的な研究センターを設立しました。

設立の背景

AIやIoTといった新たな技術の発展に伴い、これからの経営人材にも新たなニーズが生まれています。

「新しい時代に新たな価値を創造できる起業家」の育成を行い、「新領域での研究」を推進することが今後はより求められていきます。

一橋大学には、これまでに集積してきた「デザイン思考、デザイン経営」と「ビッグデータ、ソーシャルデータ等の情報学」の知見があります。同センターの活動を通じて、これらの視点を組み合わせ、デザイン・イノベーションの創出を目指します。

センターの概要 （具体的な研究テーマ等は別添の「設立趣意」をご覧ください）

一橋大学では、2021年度から「データ・サイエンス」を含む情報学や「デザイン思考、デザイン経営」の視点を組み合わせた学部横断型の教育プログラム（データ・デザイン・プログラム）をスタートさせるべく、準備を進めています。

そうした社会の改善に寄与する教育プログラムの開発のほか、「**デザイン経営の標準KPI策定**」や「**プラットフォーム企業**」に関する研究を担う、学部・研究科横断的な組織がこのセンターです。



2020年1月6日
国立大学法人一橋大学

データ・デザイン研究センター 設立趣意

一橋大学（東京都国立市）は、経営管理研究科内に「データ・デザイン研究センター」を設置し、デザイン経営やデータ・サイエンスを含む情報学（以下、「情報学」という。）に関する教育プログラムの開発並びに当該分野に関する研究活動を行うこととした。同センターは、以下の6つの事業を推進する。

1. 情報学に関する高度専門人材の育成に資する教育プログラムの調査及び開発
2. 情報学に関する研究及び調査
3. 情報学に関する討議用ケース教材の開発及び発信
4. 情報学に関するリサーチ・ペーパーその他出版物の刊行
5. 情報学に関する講演会、講習会、研究会等の開催
6. その他センターの目的を達成するために必要な業務

また、同センターは、2019年度から2020年度にかけて、国内外の複数の有力企業と共同研究契約を締結し、以下の2つのテーマについて重点的に研究を進める方針である。

テーマ1： 「デザイン経営の標準 KPI 策定」研究

360度ステークホルダー調査をベースにしたデザイン組織の KPI 測定方法の標準化とその実効性の検証をする。

テーマ2： 「プラットフォーム企業」研究

GAF A、およびアリババ、テンセント、ファウウェイなどの経営実態について、多角的に検証（財務特性、人事特性、戦略特性など）し、日本企業への適用方法を検討する。欧州 GDPR の今後の方向性、および各国規制当局の動向を洞察・検討する。「情報経済」のマクロ理論の再検証を進める。

共同研究契約の締結が進み次第、2か月に1回程度のペースで、本学千代田キャンパス（東京都千代田区一ツ橋）で、参加企業の研究者、本学研究者・大学院生などで、研究報告・検討会の実施を想定している。

以上

【お問い合わせ先】

一橋大学 大学院経営管理研究科事務室

E-mail: hub-so.g@dm.hit-u.ac.jp